


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成30年 5 月 15 日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第2号	質問議員	6番	石田照子	
件名	消防団員確保のための環境整備を				
要 旨					
<p>消防団員の定員に対する充足率は約86%である。14分団中11分団で定員割れしており、多くの地域で新しい団員の確保に苦勞している。消防団詰所の老朽化も深刻である。また、町内で働く団員も少なくなり、日中の出動も危ぶまれている。</p> <p>近年、大きな災害が各地で発生しており、当町においても、東南海地震や富士山の噴火などが危惧されている。ひとたび大きな災害に見舞われると、町民の救助や誘導、避難所の運営などの確に活動できるのは、地域に根差し、地域を把握しつくした消防団員である。そこで、緊急時に混乱をきたさないよう、消防団員を確保しやすい環境の見直しを図るべきと思い以下を質問する。</p>					

1. 消防団員の定員の見直しを図ったらどうか。
2. 機能別消防団員（OB団員）の導入を検討したらどうか。
3. 報酬の支払方法の見直しを図ったらどうか。
4. 出動手当の見直しを図るべきと思うがどうか。
5. 水槽付ポンプ車の導入が必要ではないか。
6. 詰所配置の検討をしたらどうか。
7. 大きな会社には、独自の消防団を結成し、初期対応が図れるよう協力依頼をしたらどうか。
8. 消防団員を多く出している会社への報償制度を設けたらどうか。